

## 再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

<b>事業名</b> 一般国道253号 <small>はっかとうげどうろ</small> 八箇峠道路	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 北陸地方整備局	
<b>起終点</b> 自：新潟県十日町市八箇 <small>とおかまち はっか</small> 至：新潟県南魚沼市余川 <small>みなみうおぬま よかわ</small>				<b>延長</b>  9.7 km	
<b>事業概要</b> 一般国道253号八箇峠道路は、地域高規格道路上越魚沼地域振興快速道路の一部を形成し、通行規制区間や交通の難所である「八箇峠」の交通障害の解消、十日町市・南魚沼市間の連携強化及び地域振興支援などを目的とした延長9.7kmの直轄権限代行による道路事業である。					
H12年度事業化		H1年度都市計画決定		H13年度用地着手	
H12年度工事着手		H12年度工事着手			
<b>全体事業費</b>	約503億円	<b>事業進捗率</b>	76%	<b>供用済延長</b>	0.0km
<b>地域の防災面の課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十日町地域と南魚沼地域の中心都市を結ぶ主要幹線道路であるが、線形不良区間が連続しており、冬期間をはじめとし大型車通行に支障が生じている。</li> <li>・連続雨量80mmで通行止めとなる区間が存在するほか、道路災害や雪崩等による通行止めが発生している。（平成23年7月新潟・福島豪雨では約224時間の全面通行止め、約3210時間の片側交互通行規制が発生）。</li> <li>・通行止めが発生した場合大幅な迂回が必要となり、物流や地域生活に多大な影響を及ぼすことから、抜本的な対策が求められており、十日町市、南魚沼市からも要望がだされているなど地域の喫緊の課題となっている。</li> </ul>					
<b>課題を踏まえた対策・事業内容</b> ・現道は急峻な地形にあり、全線での現道対策は大規模な改築工事が必要となる等、課題が多いため、9.7kmの別線を整備することにより課題箇所を回避。					
<b>事業の効果等</b> ①緊急輸送道路ネットワークの強化 ・大雨等による土砂崩れや雨量規制に伴う通行止め等を回避し、信頼性の高い緊急輸送道路として災害時の緊急活動等を支援 ②日常生活を支える道路として機能 ・線形不良区間を解消するとともに通行止めによる迂回を回避 ③冬期間におけるスムーズな交通の確保 ・降雪・積雪・凍結の影響による通行規制や雪庇除去に伴う片側交互通行規制を回避 ④第三次医療機関へのアクセス向上 ・第三次医療施設（魚沼基幹病院）の60分圏カバー人口が約2,300人増加			<b>費用</b> <small>（残事業） / （事業全体）</small>  108 / 547億円 〔 事業費：96 / 535億円 維持管理費：11 / 11億円 〕		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地域から頂いた主な意見等： 十日町市や南魚沼市など2市2町等で構成される上越魚沼地域振興快速道路「十日町・六日町間」整備推進連絡協議会より要望を受けている。  知事の意見： 地域の安全確保等のため、事業を継続する必要がある。					

事業評価監視委員会の意見

- ・ 審議の結果、再評価及び対策方針（原案）の「事業継続」は妥当である。

事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等

- ・ 地域医療の高度化に向けて第三次救急医療施設「魚沼基幹病院」がH27年6月に開院。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成12年度に事業化、用地進捗率73%、事業進捗率76%（平成27年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

八箇IC（仮称）～野田IC（仮称）の約6.6kmについては、平成29年度開通に向け事業を推進するとともに、引き続き残りの事業区間についても事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 切土及びトンネル掘削残土を事業区間内で使用するなどコスト縮減に努めている。
- ・ また施工にあたっては新技術の活用により、コスト縮減に努めていく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性は変化なく、防災面の効果が見込まれるため。

事業概要図

【広域的位置図】



※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。